

イオン堺鉄砲町ショッピングセンター（仮称）開発事業に係る 事後調査計画書の概要

1. 事業者の氏名及び住所

事業者の名称 : イオンモール株式会社
 代表者の氏名 : 代表取締役 岡崎 双一
 事務所の所在地 : 千葉県美浜区中瀬一丁目 5 番地 1

2. 対象事業の名称

イオン堺鉄砲町ショッピングセンター（仮称）開発事業

3. 対象事業の実施状況

3-1. 調査実施日

平成 26 年 9 月中旬～平成 30 年 6 月 30 日

3-2. 調査期間の工事の状況

工事工程は表 3-1 に示すとおりであり、本事業の建設工事は平成 26 年 9 月中旬着工、平成 28 年 2 月竣工予定とする概ね 1 年 6 ヶ月の計画としている。

表 3-1 工事工程表

工種	平成26年				平成27年												平成28年		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
準備工	■	■																	
土工事・基礎工事		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■							
躯体工事				■	■	■	■	■	■	■	■								
仕上工事							■	■	■	■	■								
外構工事										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
アンダーパス工事	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■								
検査																			■

事後調査計画の変更について

平成 26 年 5 月提出の事後調査計画書に記載した事業の実施時期について、関係機関等との協議を慎重且つ丁寧に行った結果、当初予定の工事着工に遅れが生じたため事業の実施時期の見直しを行った。

4. 事後調査の方法

4-1. 調査項目及び調査内容

事後調査の項目、調査地点、調査時期及び頻度並びに調査方法は、表 4-1～表 4-2 及び図 4-1～図 4-2 に示すとおりである。

表 4-1 事後調査計画（工事中）

調査項目	調査地点	調査時期	調査方法	報告時期	
工 事 中	環境騒音 環境振動 敷地境界騒音 敷地境界振動	現況調査地点と同地点 地点 1、地点 2 地点イ、地点ロ	工事最盛期 平日 1 日	工事の時間帯に測定 (騒音の測定は日本工業規格 Z8731、振動の測定は日本工業規格 Z8735 に定める測定方法)	調査翌年度 6 月 (平成 27 年 6 月)
	敷地境界騒音	敷地内 1 地点	工事期間中	常時測定	測定値をパネルなどで常時表示する。
	道路交通騒音 交通量	予測地点と同地点 地点 S-B、地点 S-E 地点 O-A	工事最盛期 平日 1 日	工事の時間帯に測定 (騒音の測定は日本工業規格 Z8731 に定める測定方法、交通量は数取器による観測)	調査年 9 月 (平成 27 年 9 月)
	建設機械及び 工事用車両の 稼動状況	事業計画地内	工事期間中	工事作業記録等により整理する。 機種、型式、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の有無及び各々の稼動台数、工事用車両の出入台数	調査翌年度 6 月及び 調査翌々年度 6 月 (平成 27 年 6 月及び 平成 28 年 6 月)
	廃棄物	事業計画地内	工事期間中	工事作業記録等により整理する。 建設残土：発生量、処分量、処分方法、リサイクル量 建設廃棄物：月別種類別発生量、排出量、リサイクル量	

表 4-2 事後調査計画（供用時）

調査項目		調査地点	調査時期	調査方法	報告時期
供用時	環境騒音 環境振動 敷地境界騒音 敷地境界振動	現況調査地点と同地点 地点 1, 地点 2 地点イ、地点ロ	開店後 3 ヶ月以降の 定常状態となる平 日・休日の各 1 日	24 時間連続測定 (騒音の測定は日本工 業規格 Z8731、振動の測 定は日本工業規格 Z8735、低周波音の測定 は「低周波音の調査方法 に関するマニュアル 平成 12 年 10 月 環境庁 大気保全局」に定める測 定方法)	調査年度 9 月 (平成 28 年 9 月)
	低周波音	現況調査地点と同地点 地点 1, 地点 2			
	道路交通騒音 交通量	現況調査地点の内、事 業計画地に近く比較的 施設関連車両の台数が 多い以下の 7 地点 地点 S-A、地点 S-B 地点 S-C、地点 S-E、 地点 S-G、地点 O-A 地点 O-B	・開店時の休日 1 日 ・開店後 3 ヶ月以降の 定常状態となる平 日・休日の各 1 日 ・年末年始等の繁忙期 1 日	9~24 時の 15 時間連続 測定 (騒音の測定は日本工 業規格 Z8731 に定める 測定方法、交通量は数取 器による観測)	
		対象地点 地点 S-A、地点 S-B 地点 S-C、地点 O-A	1 年目の定常状態と なる平日・休日の事後 調査において、左記調 査地点で予測結果を 超過した日の時間帯	2 年目の調査 1 年目の定常状態となる 平日・休日の事後調査に おいて、左記調査地点で 予測結果を超過した時 間帯を対象に測定	調査年度 9 月 (平成 29 年 9 月)
	廃棄物	事業計画地	季節変動が定常状態 となる供用後 次年度の 1 年間	廃棄物に関する資料に より整理する。 月別種類別発生量、リサ イクル量、排出量、搬出 先、生ごみ保管方法	調査翌年度 6 月 (平成 30 年 6 月)
	地球環境	事業計画地	季節変動が定常状態 となる供用後 次年度の 1 年間	エネルギー使用量に関 する資料により整理す る。 エネルギー使用による 店舗からの年間 CO ₂ 排出 量	

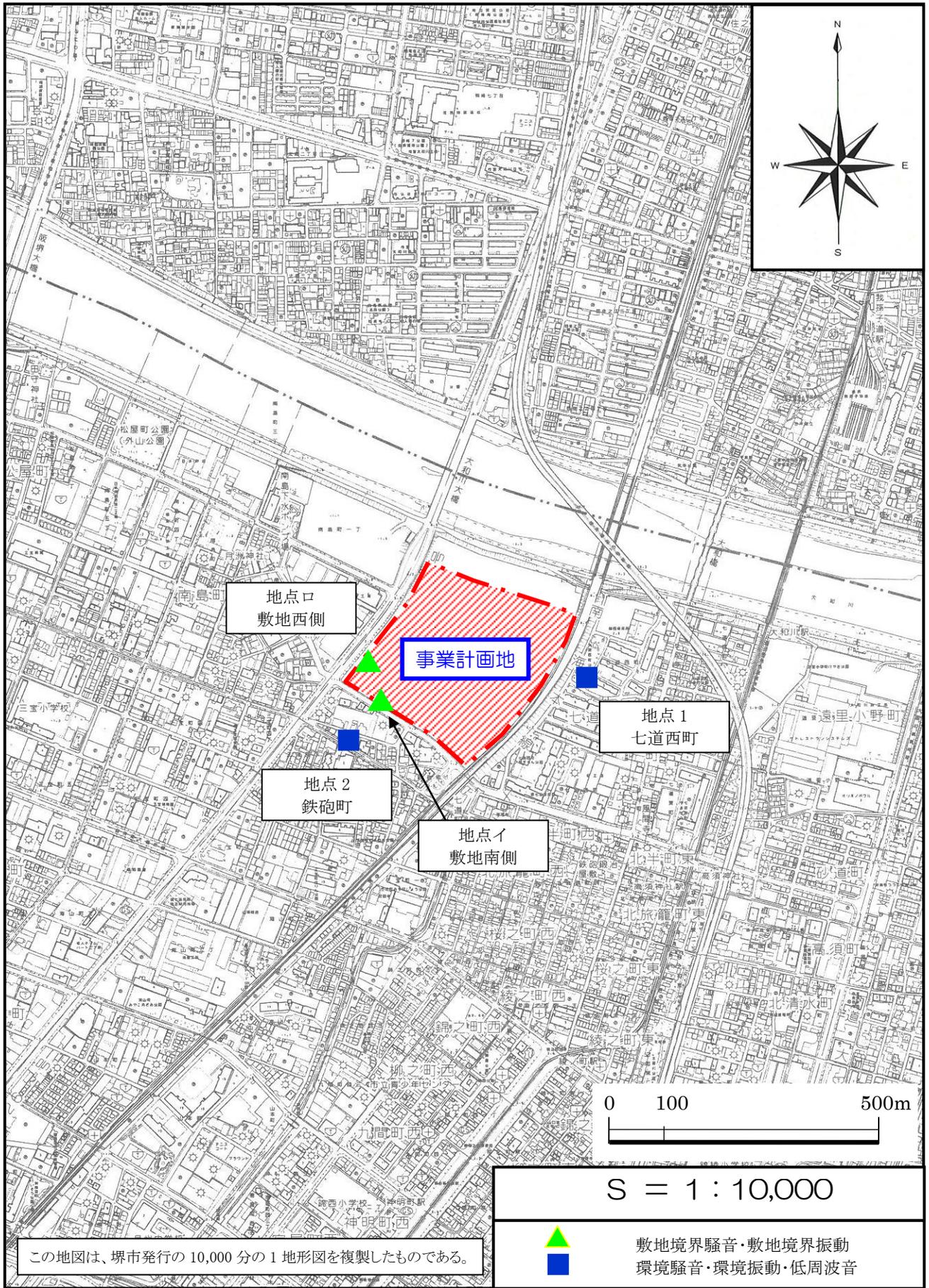


図4-1 騒音・振動・低周波音調査地点

